



と合わせ、筑後市でも大いに参考になると思われた。難しいケースとしては、精神疾患を持つ親への対応や相手が面会を拒否する場合などあり、いかに信頼関係を築くかが最重要だったことであった。



府中市子育て支援センター「たっち」

# 建設経済委員会

平成18年7月4日～6日

北海道 釧路市(人口:193,613人)  
帯広市(人口:171,212人)

委員長 島 啓三

釧路市では、国土交通省

の認可を受け、水害の防止と地域の生活環境の向上を目指し治水施設と水辺空間の整備を「釧路川リバーサイド整備計画」として一体的に実施している。市民参加により計画されたため、市民の関心は高く、清掃活動を行うなど市民と連携した効果的な維持管理がなされている。

帯広市では、市まち美化サポート事業「アダプト・プログラム」(※10ページ注参照)について研修を行った。

公共スペース(公園・道路等)を市民がアダプト(養子に)し、愛情をもって清掃・美化活動を行うもので、他の地域では行政主導で行われることが多いこのシステムを、帯広青年会議所が事業の中核を担うことにより行政・住民・企業の協議で美化活動が進められている。「自分たちの町は自分たちの手で」という住民意識の高揚につながる非常に有効な手段となっている。

また、私たちが視察したパークゴルフコースは本年より市民との協働により管



研修風景(釧路市)

理・運営が実施されている。パークゴルフ同好会が主体となり、草刈・清掃・肥料散布だけでなく利用調整の業務も行っている。

市民と行政が協働で公共施設の維持管理と運営を担うことで、生きがいづくりと健康スポーツの普及・振興に結びつき、経費の軽減等のメリットが挙げられている。今回、先進地を視察したことにより、今後の筑後市のまちづくりにつなげていくことで非常に参考となった。



# 議会運営委員会

平成18年7月10日～12日

宮城県 多賀城市(人口:62,371人)  
塩竈市(人口:59,904人)

委員長 原口英喜

宮城県多賀城市及び塩竈市へ行政視察研修を行った。

研修内容は議会運営全般についてである。

多賀城市では、珍しいことに1人党派が多数を占めていた。理由は、同じ党派で会派をつくっていたが、その中でも考え方が違う人がでてきたからとのことであった。

議会運営委員会のメンバーは、各党派3人に1人の割合で選出。2人以下の会派はオブザーバーとして議会運営委員会に出席はできないことになっている。

一般質問については、再質問を含め3回までとの質

問回数制限があった。予算・決算特別委員会は議長も含め、全議員で構成され、審査日数は4～5日を要する。

議会だよりについては、編集委員は各党派から選出し、6名で構成されていた。塩竈市は港町で、朝はまち全体が忙しいため、本会議は午後1時から始まる。会派は存在するが、一般質問については個人制をとっている。

また塩竈市は、民間会社の提案により、平成6年からケーブルテレビによる本会議・特別委員会の放映が始まった。現在、加入世帯数は1万世帯を超える。平成9年からはラジオ放送も開始している。今回の研修は、開かれた議会を目指す上で、大いに参考になる研修であった。



研修風景(塩竈市)

編集後記

秋たけなわの季節、何かと行事が多い。この間も様々な催し物に出席した。文化・スポーツ・伝統行事や地域の催し物など、目白押しだった。しかも9月半ばには台風まで襲来し、日曜と重なったため延期された行事も少なくない。

そんなこんなで、日程が重なり「どうしたものか」と、一つしかない身体の処遇について悩んだ。都合をやり繰り何とか出席することにするが、掛け持ちのため中途で次なる会場へ。本当は「こんなんじゃないの」と思いつつ。

## ちくご市議会だより

編集特別委員会

- 委員長 貝田 義博
- 副委員長 五十嵐 多喜子
- 委員 矢加部 茂晴
- 委員 田中 親彦
- 委員 入部 登喜男
- 委員 水町 好